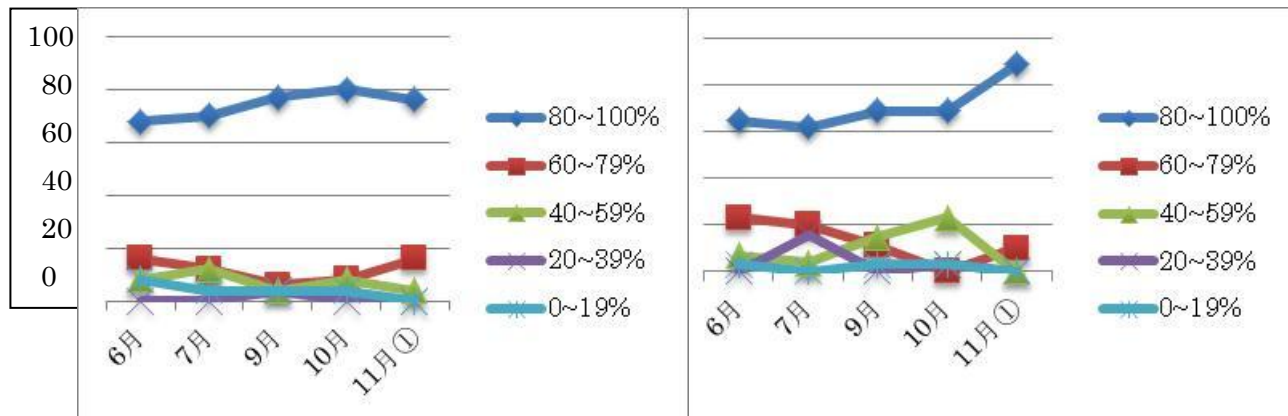
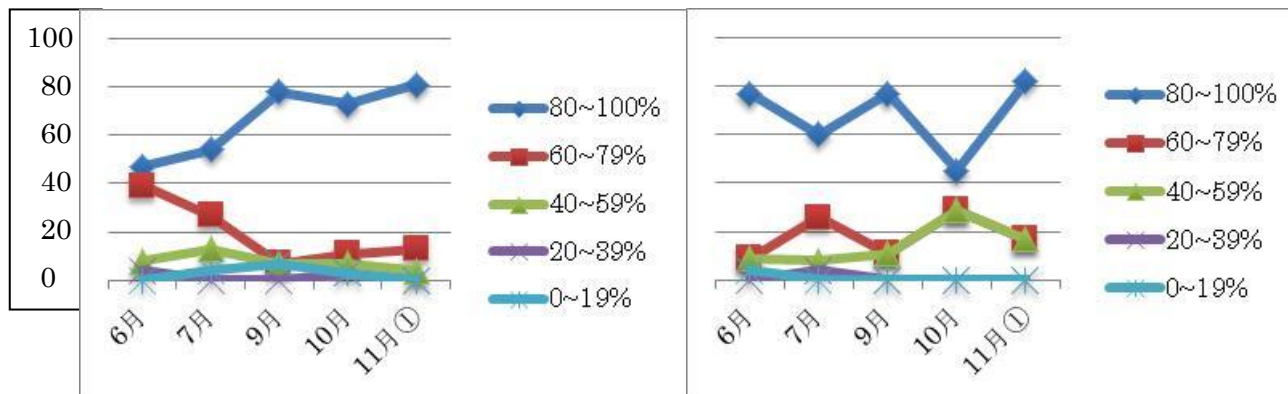


・畑満足度集計(月ごとの満足度の変化※参加人数に対する割合で算出)



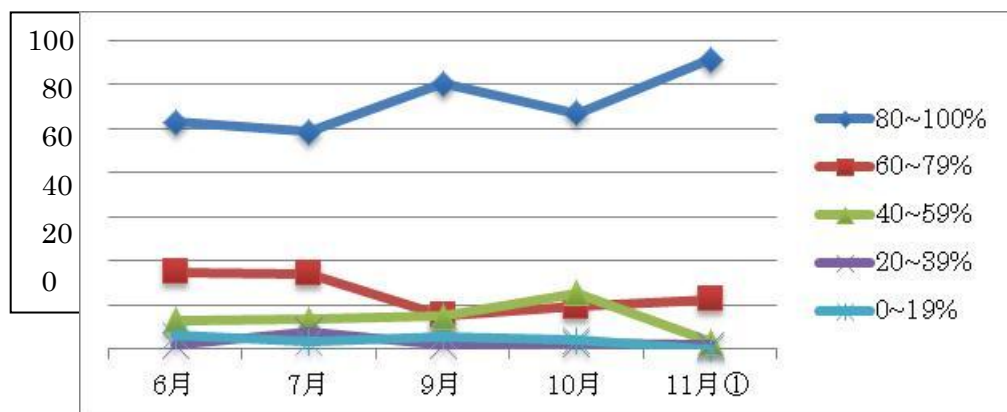
<バトルグループ>

<季節グループ>



<へんしんグループ>

<ぐろーばるグループ>



<全体>

全体のグラフの結果を見ると、フレンドシップ畑に行って活動をした6月、9月、11月①の満足度が高い。このことから、子どもたちは普段あまり馴染みのない畑で活動することそのものを楽しみを見いだしているといえよう。しかし、各グループで見るとほぼ11月①に向けて徐々にグラフが伸びていることが分かる。同様に、0~19%の割合も減少している。10月活動において、満足度が下がっているのは活動を企画する側の意図が強すぎて子どもたちにとって自由度の少ない活動であったためではないかと反省している。11月②と12月は畑満足度を取ることが出来ず、観察のみの評価となったが、自分たちのさつまいもを食べながら「甘くておいしい。」「地域のかたと一緒に作ったり選んだりしてよかった。」というコメントや芽キャベツを食べて、「もっと食べたい！おかわり！」と喜ぶ姿が多く見られたため、満足度も高かったのではないかと考える。また、11月①のイモ掘りの活動では、地域の方との仲良し度を畑ノートで自己評価するようにした。88人中63人が80%以上と答えており、年間を通して同じ地域の方と活動してきたことの成果を見ることができた。この、地域の方との仲良し度を畑満足度とともに毎月、もしくは6月にとるようにすればよりよかったと反省している。

今年度の畑活動では、毎年行っているサツマイモのほかに芽キャベツを育てたが、世話から収穫まで毎回必ず一人一人がかかわるようなしかけを行っていた。一人一人がしっかりと活動に参加できるようにすること、また、こちらの意図することを行う中でいかに子どもたちにとって自由度の高い活動にしていくかということについて、今年度の反省も考慮しながら次年度さらによりよいものになるように引き継ぎたい。